

## 独占インタビュー 教えて！ だいちゃん

ありのままの存在を認め合う社会にするためには…？  
「だいちゃん」こと、にじっぺ茨城代表の永瀬大紀さんへインタビューを行いました。にじっぺ茨城とは、茨城県を中心にLGBTQに関する啓発活動を行っている団体です。ご自身の経験談や現在の主な活動、LGBTQのお話など様々なお話を伺うことができました。



### 「にじっぺ茨城」をはじめたきっかけ

私の性自認（自分の性をどのように認識しているか）は、男性でも女性でもなく、「自分」です。自分の性を否定されてしまう経験が多くあり、高校生の時、「今の社会では、自分のありのままの性を閉ざして生きていくしかないんだ」という考えに至っていました。

そんな中、はじめて他県のLGBTQコミュニティの交流会に参加しました。そこでは、同じように悩みを抱えながらも自信を持って生きられるLGBTQ当事者の方がおられ、私の悩みや性についても、真剣に聞いて寄り添ってくださいました。その時から私は、「悩んでいるのは自分だけではない」「今の社会でも、ありのままの自分らしく生きていっていいんだ」と思えるようになりました。

この経験から、自分も性で悩みを抱える人々に寄り添っていきたい、お互いのありのままの性を認め合える、そんな地域・社会を築き上げていきたい、との思いを抱き、立ち上げたのがにじっぺ茨城でした。現在は、地域でのLGBTQ交流会や相談支援の活動、社会への多様な性に関する理解啓発活動を日々展開しております。

### 共生社会へのはじめの一步



私の考える共生社会に向けて、みなさんに意識してもらいたいことについて紹介させていただきます。

私が、社会活動をする上で、常に心に置いていること・意識していることは、「相手を否定しないこと」です。特に、性別は生まれながらのものであって、否定をされても自ら変えられるものではありません。皆さんには、目の前の「その人」の性のあり方を尊重していただきたいです。もちろん、相手の価値観や表現をおかしいと思うことは、一つの考え方も思いますが、でも、それを正直に口に出せば相手は傷ついてしまいます。相手を否定する言葉には、気をつけてみてください。

私がいづも、講演でお話しする二つの言葉があります。それは、「枠組み

メガネ」と「正直マイク」です。枠組みメガネは「※アンコンシャス・バイアス」、正直マイクは「※マイクロ・アグレッション」のことです。私も人間であり、枠組みメガネをかけて物事を見てしまうこと、正直マイクで話してしまうことが、多々あります。これらによって傷ついている人々が、社会の中にたくさんおられるのも事実です。

この状況を少しでも改善していくために大切なことは、「対話を重視すること」だと、私は考えています。まずは対話や交流を通して、相手の価値観や困りごとを知ってもらいたいです。そして、「LGBTQだから」「障害だから」という枠組みではなくて、「あなただから」というとらえ方を、みなさんには大切にしていきたいです。

対話の中で、自分の意見を伝える際に、ポイントにしてほしいことが一つあります。それは、Iメッセージというものです。Iメッセージの「I」は、英語の「私は」です。相手に自分の意見を伝える時には、「私は〇〇と思います・感じます」と、「私は」という言葉を意識してもらえたらと思います。

ここまで具体的にお話をしましたが、私自身は共生社会というものに、

完全な正しい答えやゴールはないと考えております。社会や時代の変化とともに、人それぞれのニーズも変化していきます。一つ支援をしたから終わりではなく、常に前を向きながら、お互いに対話を重ね、助け合って生きていくことが大切であると、私は思います。※アンコンシャス・バイアス、マイクロ・アグレッションについてはLGBTQ用語講座をご参照ください。

## 石岡市にお住まいの皆さまへ



私は幼少期の頃から、石岡市の地域の皆さんの温かな愛情に包まれながら育ってきました。困った時には、いつも手を差し伸べてくださり、他の人が困っている時には相談し合って、助け

合う、そんな地域性が大好きです。

今は社会・時代も変わりつつあり、「プライバシーも大切」、「支援が迷惑になってしまっているのでは？」との意識の芽生えから、地域内の関係性にも変化が生じているように感じます。私も含めてそんな社会の変化の中でも、日頃からコミュニケーション・対話を通して、信頼関係を築きながら「困った時はお互いさま」とお互いに助け合うことのできる地域のあり方を今後も大切にしていきたいなと感じています。

他者との関わりの中で、私が一番大切だと思うことは「相手を否定しないこと」です。まずは、どんな意見、考え方、表出をも受け止める（危険な状況などを除いて）。それをどう解釈するかは聞き次第ですが、それに対してただ否定するのではなく、メッセージを通して自分の意見を伝え、対話を通してお互いの考えに調和を図っていくことが大切だと思います。

## にじっぺ茨城



詳しくは  
こちらから▶



## 大ちゃんから学ぶ LGBTQ 用語講座



L レズビアン	自分を女性とっていて、好きになるのは女性の人
G ゲイ	自分を男性とっていて、好きになるのは男性の人
B バイセクシュアル	好きになるのが男性・女性どちらでもある人
T トランスジェンダー	生まれた時に割り当てられた性別と、性自認が一致しない人
Q クエスチョニング	自分の性自認や好きになる性を、特定の性別に決めていない人、定まっていない人

### アウティング

その人の性別に関すること、性自認や好きになる性などを本人の許可なく他者に漏らすこと。

### アンコンシャス・バイアス

直訳すると「無意識の偏ったモノの見方、思い込み・偏見」。誰かと話すときや接するとき、これまでに経験したことや、見聞きしたことに照らし合わせて、あらゆるものを「自分なりに解釈する」という脳の機能によって引き起こされるもの。

### カミングアウト

これまで公にしていなかった自分の性について他者に打ち明けること。

### マイクロ・アグレッション

直訳すると「小さな攻撃」。他人を傷つける意図はないが、結果として傷つけてしまうような発言や行動。明らかな敵意や偏見に基づく行動を指す「差別」とは違い、加害者が意図していない形で発生する。

## 大ちゃんママ ようこさんに聞いてみた！

永瀬大紀さんのお母さんであり、コミュニティカフェ「大ちゃん家」の代表である永瀬洋子さんにインタビューを行いました。



### 大ちゃんの幼少期について

小さい頃は、道で見かけた虫や動物にも挨拶をする子でした。共働きだったので、寂しい思いをさせてしまいましたが、家族（特におばあちゃん）の助けもあり、優しい子に育ってくれたと思っています。

また、字の読み書きは、仕事をしていたため時間がとれず、じっくり教えることができませんでしたが、幼稚園での授業や、おもちゃなどで遊ぶことで、自然と覚えてくれたりと、手の掛からない子でした。

### 子育てをする上で

#### 気をつけたこと

相手を傷つけたりしない、思いやりのある子に育ってくれればいいなと思います。子育てをしていました。

一番気をつけていたのは「礼儀」の部分です。特に挨拶は重要だと考えていたので、朝は「おはよう」から始まり、何かしてもらったら、家族の間でも「ありがとう」と必ず伝えるようにしていました。家族で挨拶や感謝を伝えることが当たり前になれば、外に行っても必ずできるようになると思ったからです。やってもらって当たり前と思わないことが、感謝の言葉に繋がることを子どもたちに伝えていました。

また、子どもの意見を尊重しましたが、全部を受け入れることはしませんでした。その意見について説明を聞いてみて、自分が納得できるものであれば、意見を受け入れました。結果的に対話を重視しました。

### 「大ちゃん家」を始めたきっかけ

大紀の積極的な活動を間近で見守りながら、大きな影響を受けました。ちょうど自分が還暦という節目であったため、何か新しいことを始めたいと思っていた部分もあり、大紀にも色々相談に乗ってもらいながら「大ちゃん家」を始めました。老若男女、様々な人が訪れ、LGBTQのこと、介護のこと、どんな話題でも気兼ねなくお話しできる場所になればいいなと思っています。

### 石岡市にお住まいの皆さまへ

大切な人に対して、真正面から向き合ってみてください。お互いがお互いを理解し合い、信頼関係を築いていこうとする姿勢が最初のスタートです。自分と少し違った相手を受け入れることは、時に、難しい部分もあるかと思えます。しかし、対話の場を持つ姿勢は、家族や大切な人に限らず、全ての人間関係において、大切なことだと私は思っています。

### にじつぺ茨城

#### 第1回@らつとマルシェ交流会

@らつとカフェ（日立市）

▼10月28日、日立市にある@らつとカフェにて「多様性を分かち合える共生社会へ！」をテーマに永瀬さんによる講演・個別相談会が行われました。当日は約20人の参加者が訪れ、テーマについてお互いに話し合い、理解を深めました。



### 交流会ワークショップ

#### アンコンシャス・バイアス

をふまえてどのような状況なのか考えてみましょう！

だいきくんはお母さんと一緒にデパートに買い物に行き、お母さんがレジに並んでいる間に迷子になってしまいました。泣いて困っているだいきくんを見かけた、通りがかりのおばあさんは、迷子のお知らせをもらうために、だいきくんをサービスカウン

## 大ちゃん家とは？

大ちゃん家は、「みんなの心のよりどころ」をテーマに永瀬洋子さんが運営を行うコミュニティカフェです。電話で予約していただければどなたでもご利用いただけます。話を聞いてほしい人はもちろん、相談がある人はぜひ、ご利用ください。



**日時：**不定期（※要事前予約）午前10時～午後3時  
**場所：**石岡市宇治会 2517  
**TEL** 080-1171-1890

詳しい開催日時やイベントについては二次元コードからご確認ください▶



▲レンタルスペースは1時間500円からご予約にて使用可能です。

## みんなのつぶやきを大切に…



▶大ちゃん家にはみんなのつぶやきノートとシール帳が常時準備されています。これは大ちゃん家の利用者からの発案で始めたもので、交流会を通して思ったことや感じたこと・学んだことを自由に記載できます。



▼「お母さんはレジに並んでいるのに、案内係の人もお母さんってどういうこと？」と思った人も多いのではないだろうか。このような場合、考えられる状況について2点ご紹介します。

①サービスカウンターの案内係の人がお父さんだった  
デパートでの見慣れた光景から、サービスカウンターの人は女性であるという認識が頭の中に強くある人は、①のような場合を想像することが難しいのではないだろうか。

②お母さんがパートナーシップ宣誓制度を利用していた  
だいきくんのお母さんは同性愛者であり、サービスカウンターの案内係の人とパートナーシップ宣誓を行っていた可能性もあるかもしれません。

### 解説

ターに連れて行きました。すると、サービスカウンターの案内係の人は、だいきくんを見て「この子は私の子どもです。ありがとうございます」と言いました。

